

登小だより

教育成果を生かしながら

運動会から一か月が経とうとしています。短い期間でしたが、皆様方に最高の姿を披露しようと、子供たちとともに全力を注ぎました。そのエネルギーは相当なものでした。四月の始業から、あつという間の運動会実施です。当日まで一七八人の子供たちに凛とした集団行動を求めていきました。指示の下、何度も何度も繰り返し、できるようなるまで、自分も自分たちの動きを確認していきました。それらの取組には理由があります。集団の規則正しい動きを作ることや迅速な動きをつくることは、運動会で表現するためだけのものではありません。子供たちが、日頃の学校生活を機能的に、無駄なく送るための不可欠なものであると考えます。ひいては、子供たちの命を守ることに繋がります。そこで、私たちは運動会後にも取組によって高めた集団行動、集団意識を高めることを継続し、ブラッシュアップしていきます。その成果もあり、今、子供たちは私たちの指示を静かに聴き、とるべき行動を自分の力でできるようになりつつあります。できないときは、指示や指導を繰り返しています。みんな揃えることを定着させ、最後は活用できる力として身につけさせていきたいと思います。学校生活と学習の基盤となる集団行動・集団意識です。今、力を入れるべき教育指導として、常に指導の工夫と改善を図っています。本校の指導について皆様方に理解をいただき、互いの手を携えて子供たちの「生きて働く力」の育成に力を尽くしていきたいと願います。よろしくお願いたします。



並んで廊下を移動する子供たち 無言で行動しています



集会での姿勢や整列の仕方は見事です



水無月号



登立小HP

文責 校長 田崎正明

「不審者避難訓練」のびっ子の感想から



六年海崎 茉那

私は、緊張していましたが、心の片隅でこれは訓練だからと少し安心してしまったので、反省して改善していきたいと思えます。そして、本当に不審者の侵入があったら今回の訓練のように速やかに避難したいと思えます。いつ、どこで、こんな場面に出会うかわからないので、今日は、とても良い勉強の機会でした。

本校の体力テストの結果※「50」を平均とした比較

男子	握力	上体	長座	反復	ラン	50m	立ち幅	投げ
1年生								
2年生								
3年生								
4年生								
5年生								
6年生								

女子	握力	上体	長座	反復	ラン	50m	立ち幅	投げ
1年生								
2年生								
3年生								
4年生								
5年生								
6年生								

※ 筋力(握力)、敏捷性(反復横とび)、跳躍力(立ち幅とび)、柔軟性(長座体前屈)、筋持久力(上体起こし)、全身持久力(20mシャトルラン)を測定することができます。

五月末に体力テストを実施しました。その結果から、今年度の数値から向上し、上昇傾向にあり、朝のランニングなど体力向上の取組により、全身持久力の向上が図られていることにも起因していると考えられます。その反面、筋持久力や跳躍力の低下が見られます。課題改善に向けて、反復の動きや、筋肉への負荷をかける、俗にいう「筋トレ」等の運動を体育の時間や業前活動に取り入れていきたいと考えています。ご家庭でも取組を進めていただくなど、運動の機会を増やす働きかけをよろしくお願いいたします。

学校運営協議会委員の皆様方

- 水野敏行様(老人会長)
- 山下勝市様(区長代表)
- 岩井いづみ様(主任児童員)
- 和田誠治様(協働活動推進員)
- 山川清秀様(元区長代表)
- 千原菜穂子様(民生委員)
- 荒木大和様(消防団代表)
- 田中恭平様(PTA会長)

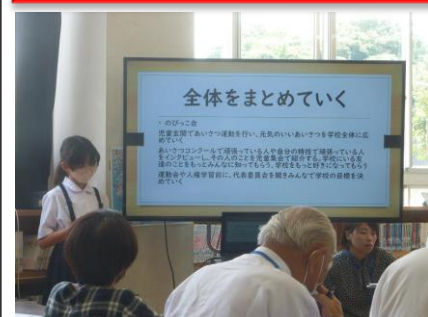
地域とともにある学校を目指して

学校運営協議会を開催しました。この組織は、本校区における住民の方々のご意見をもとに、学校経営の充実を図ることを目的に編成したものです。本年度は、八人の委員の方々から学校経営方針を伝え、ご承認いただきました。

近年の学校経営はその方向性が見直され、学校の独善的なものではなく、地域に広く意見を求め、地域の教育力を生かしながら学校運営を進めていく「地域とともにある学校」の実現が求められています。

本校ではこれまでも、多くのご支援をいただき、子供たちの学びを深めて頂いております。特に体験活動の展開には地域の方々のご支援は不可欠で、とても貴重なものとなっています。郷土愛、キャリア教育、安心・安全の保持など、地域の教育力による教育効果は絶大なものがあり、学校教育の成果は、地域連携の如何によるといっても過言ではありません。

本年度は協議会を私たち大人だけのものせず、子供たちの参画による会議としました。学校経営の内容についても、子供たちが説明し、委員の方々から子供たちが協議しながら本校の教育への理解を深める会議として進めました。学校・家庭・地域が一体となり、のびっ子の学びを支える教育システムが出来上がりました。多角的・多面的な視点を生かしながら学校運営に取り組んでいきたいと考えています。



学校生活を紹介するのびっ子



6年生全員が参加しました



授業を参観いただきました



委員の方々との熟議するのびっ子

あとがき

コロナ禍による行動の自粛から、人との対面でのコミュニケーションの機会が減り、それに伴う「つながり」の希薄さが懸念されます。生活していく中で、人とつながることで生まれる「やさしさ」や「あたたかさ」は安心感を高めてくれるものです。先日、昔の手帳を見直してみると、ある詩を書き留めていることに気づきました。以前何かで目にし書き留めておいたものです。読み返し、「そうだよなあ」と、道徳的価値に触れた気がしました。こんな時だからこそ、自分の支えとして、心に刻んでいきたいものです。題は「今度は私が」というものです。

私の乗ったバスの中、バス停で止まるたび、どんどん人が乗ってくる。次のバス停で おばあさんが乗ってきた。すわっていた若いお兄さんが、「どうぞ」と席をゆずった。バスの中に優しさが広がった。バスの中に勇気が広がった。次は、ようち園の子どもが乗ってきた。すわっていた小学生が「どうぞ」と席をゆずった。バスの中に優しさが広がった。バスの中に勇気が広がった。今度は私が席をゆずろう。

